

システム監査技術者 解答例

【午後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

モジュール製品用の B 社製品は A 社在庫として管理されるため、同じ製品でも両社で別の製品コードとなるから

設問 2 (10 点)

登録入力者とは別の棚卸実施責任者が棚卸差異の原因の妥当性を判断し、承認入力を行う。

設問 3 (10 点)

a : 在庫管理システム上の在庫数量と実地棚卸の在庫数量を在庫管理システムで全件照合する。

(別解) a : 承認された棚卸差異データに基づく適正数量で在庫データが修正されたかを全件確認する。

設問 4 (10 点)

移管された在庫の最終出庫日が在庫移管日で更新されていないことを、在庫データの記録で確かめる。

設問 5 (10 点)

十分な処理能力が確保されているか、取引件数・品目数の増加に応じた能力向上が図られているか。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

重要性の低い、単純ミスや標準に合致しない記述の修正指摘などをレビュー指摘件数にカウントしなくてよいか。

(別解) 重要性が低い指摘を除外する方法は、指摘密度の実績値に基づく品質管理基準の運用上支障が生じないか。

設問 2 (10 点)

指摘密度の算定の母数から除外可能な、過去の開発から流用した設計書のページ数

設問 3 (20 点:(1)10 点, (2)10 点)

(1) レビューアによって、指摘区分ごとの指摘件数に偏りがあるかどうか。

(2) 障害発生数の増加原因究明には 3 件では少ないため、21 件全件のレビュー記録内容を比較・検討する。

設問 4 (10 点)

不具合の根本原因の解決の有無や、テスト密度や欠陥密度などの項目を完了判定基準に含めているか。

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

全社的なセキュリティ管理の観点から項目に漏れがなく、整合が取れているかを確認する。

設問 2 (10 点)

制御ネットワークや制御システムサーバに外部から不正アクセスされ、機器が不正操作されるような事態

(別解) 制御システムがマルウェアに感染したり、外部から不正アクセスされて停止するような事態

設問 3 (18 点:(1)6 点×2, (2)6 点)

(1) ① 連続稼働に影響しないことを確認した記録

② 制御データ処理時の影響を確認した記録

(2) OS の脆弱性情報を入手して代替策を講じる。

(別解) ログ等を監視して異常を検知し、対処する。

設問 4 (12 点)

FW-B が遠隔監視・保守以外のアクセスを拒否する設定になっているかを、設定情報によって確かめる。

以上